

界面活性剤型液体増粘剤 ビスコトップ® 500K

kaO

特徴

ビスコトップ 500Kは、グラウトやコンクリート等の打設において、水質汚濁の低減や材料分離を抑制する効果があります。また従来のセルローズ系増粘剤とは異なり、事前のスラリー作成工程がなく、さらにアジテート車などへの付着が少なく、歩留まり向上や作業後の洗浄性に優れます。

基本物性

外観	無色から黄色の液体
密度	1.020 g/mL (20 °C)
pH	7 - 9

注意：-5°C以上、40°C以下で保管。50°C以上の高温下に長時間放置すると褐色に変化することがあります。

用途例

- セメントスラリー、モルタル、コンクリート、CB液、流動化処理土 等水質汚濁・材料分離の低減、材料の逸液防止が求められる場面
- ベントナイト泥水 等
- 掘削工程において、砂礫の崩落抑制が求められる場面

推奨添加量

ビスコトップ500K : 水に対して0.25~4質量%

アサヒシリコーンAF-146 : ビスコトップ500Kに対して2.0質量%

※泡立つ場合は最大10%まで増量してください。

使用上の注意

- 消泡剤は、ビスコトップを添加する前に練り水と一緒にスラリーに添加してください。
- スラリーの増粘性に影響を及ぼす可能性がありますので、シリコン系以外の消泡剤や油(油タイプの離型剤など)との併用はお控えください。
- ナフタレン系の減水剤との併用はお控えください。スラリーに流動性が必要な場合は、ポリカルボン酸系の減水剤を併用してください。
- 取扱いに当たっては、保護メガネ、手袋などの保護具を着用してください。目に入った場合は、速やかに清浄な水で十分洗顔した後、医師の診察を受けてください。飲み込んだ場合は、多量の水を飲ませ、吐かせた後、医師の診察を受けてください
- 使用及び取り扱い前に、弊社安全データシート(SDS)をお読みください。

荷姿

18kg缶 / 1000kgコンテナ

界面活性剤型液体増粘剤 ビスコトップ® 500K

KaO

ビスコトップ® 500Kを使用した場合の基本物性

1. 水質汚濁を防止

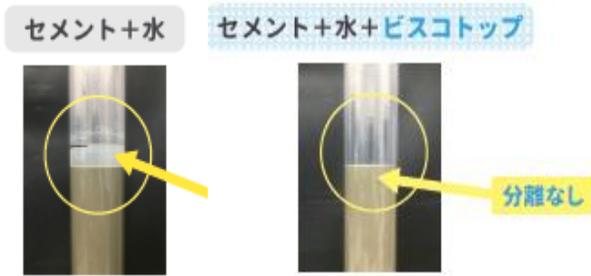
ビスコトップを添加したスラリーは水中不分離性を有し、スラリーの飛散を抑え、施工時の水質汚濁を抑えます。

2. 材料分離抵抗性

ビスコトップの増粘作用により、材料沈降を抑えることができます。

ビスコトップ®の特徴的な性質

材料分離抵抗性試験



優れた材料分離抵抗性（スラリーの沈降抑制）

水中不分離性試験



水中不分離性の付与

流動性試験



優れた流動性

骨材沈降試験



優れた礫の沈降抑制

洗浄性試験



洗浄作業の負荷軽減

ビスコトップ®製品の採用実績例

- ① 杭根固め液(基礎工事)、② 水中不分離コンクリート(トンネル、補修補強工事)
- ③ 空洞充填(グラウト工事)、④ 流動化処理土など

界面活性剤型液体増粘剤 ビスコトップ® 500K

KaO

試験例

ミキサー：ハンドミキサー

試験温度：20℃ 恒室内

混練方法：水、セメント、消泡剤を30秒間混練した後、ビスコトップを添加してさらに1分間攪拌

※W/Cが60%以下の場合、必要に応じて減水剤(ポリカルボン酸系)をご使用ください

推奨減水剤：マイテイ 21HP (花王品)

スラリー配合					結果					
W/C	水 [kg/m ³]	普通 セメント [kg/m ³]	水中不分離混和剤		J14ロート* ² (秒)	フロー* ³ (mm)	ブリージング* ⁴ (@3h/@24h)	pH* ⁵	7日強度* ⁶ (N/mm ²)	28日強度* ⁶ (N/mm ²)
			名称	添加率 対水						
60%	655	1091	ビスコトップ 500K* ¹	0.15%	2.5	448	3.7%/2.4%	12.0 <	22.2	35.2
60%	655	1091	ビスコトップ 500K* ¹	0.4%	7.6	309	0.0%/0.0%	11.8	21.9	33.9
60%	655	1091	ビスコトップ 500K* ¹	0.9%	36.7	295	0.0%/0.0%	10.2	22.5	35.7
100%	759	759	ビスコトップ 500K* ¹	0.8%	3.4	389	1.2%/2.4%	12.0	4.7	8.7
100%	759	759	ビスコトップ 500K* ¹	1.0%	3.2	379	0.0%/0.0%	11.5	5.1	8.6
100%	759	759	ビスコトップ 500K* ¹	1.5%	9.0	364	0.0%/0.0%	10.8	4.5	8.8
150%	826	551	ビスコトップ 500K* ¹	0.8%	2.7	485	2.5%/1.2%	11.7	1.4	2.6
150%	826	551	ビスコトップ 500K* ¹	1.8%	4.3	415	0.0%/0.0%	11.1	1.2	2.7
150%	826	551	ビスコトップ 500K* ¹	2.2%	5.1	394	0.0%/0.0%	10.7	1.2	2.6

*1 消泡剤 (アサヒシリコーンAF146) をビスコトップ500Kに対して2.0%添加した。

*2 JSCE-F 541-1999 充填モルタルの流動性試験方法に準拠。

*3 JHS 313-1992 に準拠。

*4 JSCE-F532-2013 PCグラウトのブリージング率及び膨張率試験(ポリエチレン袋法)に準拠

*5 土木学会規準 コンクリート用水中不分離性混和剤品質規格(案)に記載の水中不分離性コンクリートの水中不分離度試験方法(案)に準拠。

*6 JSCE-F506-2010に準拠して供試体を作成し、JSCE-G 505-2010に準拠して試験

